

令和2年度 事業報告書

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、事業の延期や内容・実施方法の変更、入場者数の制限等を行うとともに、文化芸術活動者に対する新たな取り組みを実施した。

第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 (決算額 7,985千円) 参加者・来場者：延べ4,787人

子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力を伝える事業に取り組んだ。

① 子ども文化芸術魅力発見事業 (決算額 6,785千円)

ア 小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」参加者：35校(のべ44校)
/4,547人

国内外で活躍しているアーティストを小学校へ派遣し、音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化の体験型プログラムを実施した。また、音楽分野については、新たにマリンバを加え、プログラムを拡充した。

【音楽】

内 容： 室内楽アンサンブル、サクソフォン四重奏、マリンバ (新規)
アーティスト： 九州交響楽団、福岡青年音楽家協会、CiLi
実施校： 12校
実施学年： 小学1年～6年生
参加者数： 1,006人

【ダンス】

内 容： オリジナルダンス作り
アーティスト： 真崎千佳氏、山本泰輔氏 他
実施校： 4校
実施学年： 小学4年生
参加者数： 447人

【演劇】

内 容： 演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ
アーティスト： 有門正太郎氏
実施校： 2校
実施学年： 小学1年～6年生
参加者数： 50人

【日本伝統文化】

内 容： 能、狂言、和太鼓&篠笛、箏、筑前琵琶
アーティスト： 福岡市能楽協議会、和楽団ジャパンマーベラス、箏曲鶯絃会、尾方蝶嘉氏ほか
実施校： 16校
実施学年： 小学1年～6年生
参加者数： 1,838人

【国際文化】

内 容： 韓国伝統芸能、馬頭琴、西アフリカの伝統芸能
アーティスト： 韓ソリ、ドラム馬頭琴楽団、GEKIDAN☆AFRICA
実施校： 11校
実施学年： 小学1年～6年生
参加者数： 1,206人

イ 公募型ワークショップ「アーティストとつくる」

小学校へのアーティスト派遣やワークショップ等の質の向上を図るために、これらの子ども事業の運営を担うアーティストを対象とした「ファシリテーター育成講座」を実施した。また、子どもたちが文化芸術を体感できるプログラムを分かりやすく解説した「FFAC 子どもアートプログラム ガイドブック」を作成し、学校等への更なる事業の周知に努めた。

- 開催日 令和2年10月19日（月）～20日（火）
- 会場 あじびホール
- 講師 有門正太郎氏（演出家・俳優）、久保田 力（サザンクス筑後事務局長）
- 対象 子ども向けワークショップ、学校アウトリーチ事業の経験があるアーティスト
- 参加者 延べ30人
- 参加料 2,000円（2日間、保険料込）

※ 小学生対象の公募型ワークショップ 中止

② 親子芸術体験事業（決算額 1,200千円） 来場者：210人

ア 音楽公演

子どもが文化芸術に触れる機会の充実を図るため、0歳から入場可能で低価格の子どもと大人と一緒に楽しめる音楽公演を開催した。

- 公演名 「おんがくさんぽ vol.7 親子で楽しむ はじめてのベートーヴェン」
- 開催日 令和3年2月20日（土）
- 会場 福岡市立中央市民センターホール
- 出演者 松本和将氏（ピアノ）、山下大樹氏（ヴァイオリン）、加藤淳也氏（司会・進行）
- 入場料 一般 1,000円 中学生以下 500円
- 来場者数 210人

イ 演劇公演「悟空～冒険の幕開け～」 令和3年度へ延期

（2）伝統芸能事業（決算額 1,033千円） **参加者・来場者：132人**

①郷土芸能

福岡の郷土芸能に対する市民の関心と理解を深めるため、福岡市の無形民俗文化財に指定されている今宿青木獅子舞について、市文化財活用課と連携し、今宿青木獅子舞保存会の協力のもと、獅子舞の由来やしくみの解説を交えながら代表的な舞を披露する公演を開催した。

また、次世代を担う子どもたちに地域に伝わる伝統芸能を知ってもらうため、小学生を対象とした獅子頭づくりの工作ワークショップを実施した。

- 公演名 「獅子舞新春縁起舞」
- 開催日 令和3年1月17日（土）
- 会場 福岡市美術館ミュージアムホール
- 出演 今宿青木獅子舞保存会
- 入場料 無料（事前申し込み制）
- 来場者数 94人

- 事業名 「自分だけの獅子頭をつくろう」ダンボールワークショップ
- 開催日 令和3年1月17日（土） 2回開催
- 会場 福岡市美術館 アートスタジオ
- 対象者 小学生
- 講師 九州産業大学造形短期大学部森下研究室、大国段ボール工業株式会社
- 参加料 1,000円（材料費、保険料込み）
- 参加者数 38人

②講談『寛永宮本武蔵伝（神田伯山）』 令和3年度へ延期

（3）社会参加促進事業（決算額 2,156千円） **参加者・来場者：延べ1,965人**

障がいのある人の芸術活動を通して、障がいや個性について考え、社会の様々な価値観を認め合える環境づくりを目的とした事業に取り組んだ。

①演劇公演

NPO法人ニコちゃんの会や九州大学ソーシャルアートラボと連携して、障がい者と高齢者が全国のゲストを交えてオンライン上で様々な演劇表現に挑む様子を「公開稽古」として配信した。

- 事業名 ニコちゃんの公開稽古「オンライン演劇って、どうなる?!」
- 開催日 令和3年1月20日（水）
- 演出 倉品淳子氏（劇団山の手事情社）
- 出演 小出直子氏、小寺美咲氏、里村 歩氏、佐野優馬氏、堤 泰子氏、廣田溪氏、森 裕生氏、山口恭子氏ほか
- 視聴料 無料（事前申し込み制）
- 参加者（うち視聴者数） 1,965人（1,721人）

②特別支援学校へのアーティスト派遣 中止

（4）博多旧市街にぎわい創出事業（決算額 679千円） **来場者：150人**

福岡市を代表する歴史的エリア「博多旧市街」において、市民及び来訪者が気軽に文化芸術に触れることができる場を提供した。

① 博多旧市街プロジェクト・インバウンド事業 中止

② アートカフェ事業

市民に気軽に文化芸術に触れてもらうために、福岡アジア美術館と連携し、アートカフェやギャラリーを活用して、誰もが楽しむことができるミニコンサートやダンスパフォーマンス等を実施した。

■事業名 九響プレミアムコンサート

■開催日 令和2年12月5日(火)

■出演者 九州交響楽団、

■来場者数 32人

■事業名 美味しいコーヒーと音楽と

■開催日 令和3年2月12日(木)

■出演者 大坪由香氏 (バロック・リコーダー)、太田耕平氏 (リュート)、

■来場者数 41人

■事業名 ダンスセレクション

■開催日 令和3年3月5日(金)

■出演者 遠藤真澄氏・福田智子氏・山田 悠氏、大島匡史朗氏 (ダンス)、
VISIONS (キーボード・コントラバス)

■来場者数 77人

(5) 文化交流促進事業 (決算額 1,962千円)

参加者・来場者：609人

国内外の多種多様な舞台芸術に触れる機会を広く市民に提供し、舞台芸術関係者や市民との交流・相互理解の促進を図った。

① アジアネットワークプログラム2020

来場者・参加者：60人

令和元年度にアジア文化賞を受賞した演出家の佐藤信氏と韓国・台湾で活動を行っている舞台芸術家をオンラインで結び、東アジアの劇場とまちをテーマに意見交換を行うシンポジウムを開催した。

■事業名 「アジアネットワークプログラム2020 未来の景色～東アジアの劇場とまち」

■開催日 令和2年12月4日(金)

■会場 福岡市科学館サイエンスホールおよびオンライン

■出演者 佐藤 信氏 (劇作家・演出家)、パク・チャヨン氏 (韓国 俳優)、
チュン・チャオ氏 (台湾 劇作家・演出家・詩人)、
石田聖也氏 (劇作家・演出家)

■参加料 無料 (事前申し込み制)

■参加者数 60人 (うちオンライン視聴者22人)

② 福岡きびる舞台芸術祭

参加者・来場者：549人

福岡市の音楽・演劇練習場及びNPO法人と連携して、国内3団体の演劇公演やパントマイムのワークショップを実施した。また、福岡の劇団の公演については、演劇の活性化や若い世代の人材を育成するために、地元の活動者を公募し、東京から招聘した演出家の下で作

品を創作・発表した。

ア 演劇公演

■開催日 令和3年1月29日（金）～3月7日（日）

■会場 ぽんプラザホール、パピオビールーム、なみきホール、ゆめアール大橋

■内容 3団体の演劇公演を計8回、パントマイムワークショップを6回実施。

■出演者 ひなた旅行者（東京・宮崎）、モノクロラセンpresents（福岡）、
世界劇団（愛媛）、ケッチ氏（福岡）

■入場料 一般 1,000円～22,000円、演劇共通チケット4,600円 他

■参加者・来場者数 447人

イ 関連企画（キビるトーク）

■開催日 令和3年1月30日（土）～3月6日（土）3回実施。

■会場 パピオビールーム、ゆめアール大橋、ぽんプラザホール

■進行役 柴山麻妃氏（演劇批評家）

■参加者数 102人

第2 市民の文化芸術活動の支援

（1）第57回福岡市民芸術祭（決算額 6,129千円）

参加行事数：50行事

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れあう場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である福岡市民芸術祭を「ふくおか文化芸術応援月間」と位置づけ実施した。

① 参加行事

10月から12月にかけて市内各所で実施される活動を参加行事として認定し、広報や市施設使用料減免等の支援を行った。また、オンラインによる発表を新たに参加行事として認定するとともに、文化芸術関係団体のガイドラインやチェックリストの提供等、感染防止対策への助言を行った。

■開催期間：令和2年10月1日（木）～12月31日（木）

■参加行事：50行事（うちオンライン10）

（内訳）音楽22、美術・パフォーマンス11、演劇4、舞踊5、伝統芸能3、
文芸3、その他2

② オープニングイベント 令和3年度へ延期

③ メイン事業 令和3年度へ延期

（2）第54回福岡市華道展（決算額 560千円）

参加者・来場者：1,362人

「華道」の魅力を多くの人に伝え発信し続けるため、市を代表する20会・流派合同による華道展を開催した。

■開催日 令和3年2月4日（木）～2月7日（日）

- 会 場 アクロス福岡2階交流ギャラリー、1階アトリウム
- 参加団体 20流・会派
- 作品数 138点
- 入 場 料 無料
- 来 場 者 数 1,362人

(3) FFACステップアップ助成プログラム (決算額 5,024千円)

助成件数：19件、参加者・来場者：80,897人

福岡市において文化芸術分野の発展・普及や人材育成・環境整備に係る活動を行う団体・個人に対し、経費の一部助成を行うとともに、報告会における広報や専門アドバイザーによる助言等のフォローアップを行った。また、新型コロナウイルス感染症に対応した取り組みとして、新たに申請書類や審査方法を簡略化して申請しやすくするとともに、より多くの活動者を支援するため、採択件数を拡充した。さらに、イベントの制限や感染拡大防止のために採択された事業を実施できなかった助成対象者に対し、中止までに要した経費を助成した。

① 助成概要

- 採択件数 30件 (うち事業実施19件)
- 分野内訳 「創造活動部門」 13件、「文化団体等活動支援部門」 2件、
「人材育成・環境整備部門」 4件
- 助 成 額 4,073千円 (中止の場合の経費を含む)
- 参加者数 80,897人 (内訳) 報告会参加者 前期：10人、後期：15人
採択事業の公演や展示会への参加者・来場者80,872 人

② 助成対象団体・個人と実施内容

【創造活動部門】 13件

ア 演劇公演「名作劇場シリーズ『宝島』」

- 申 請 者 空間再生事業 劇団GIGA
- 開 催 日 令和3年2月25日(木)～2月28日(日) 6回公演
- 会 場 ぽんプラザホール
- 助 成 額 300千円
- 来場者数 211人

イ 演劇公演「FOURTEEN PLUS 14+ 第17回公演『Starting over』」

- 申 請 者 FOURTEEN PLUS 14+
- 配信期間 令和3年2月4日(木)～2月25日(木)
- 会 場 オンライン
- 助 成 額 300千円
- 視聴者数 2,834人

ウ 演劇公演「ようこそ はみだす朗読の世界へ-個からつながる物語-ポラーノの広場」

- 申 請 者 はみだす朗読 テクテクハニカム
- 配信期間 令和3年2月28日(日)～3月31日(水)
- 会 場 オンライン
- 助 成 額 300千円

■視聴者数 65人

エ 演劇ワークショップ「演劇を映像化することによって見えてきた演劇創作の普遍性」

■申請者 椎木 樹人氏

■開催日 令和2年11月14日（土）～11月15日（日）

■会場 株式会社クレスト、Lily Lounge

■助成額 100千円

■参加者・視聴者数 18人

オ 音楽公演「タンゴ三姉妹+結成記念コンサート」

■申請者 ホーム・メイド・ミュージック

■開催日 令和2年9月26日（土）2回公演

■会場 あいれふホール

■助成額 190千円

■来場者数 191人

カ 音楽公演「MUSIC CITY TENJIN 2020」

■申請者 ミュージックシティ天神運営委員会

■開催日 令和2年9月26日（土）

■会場 オンライン

■助成額 300千円

■視聴者数 36,266人

キ 音楽公演「FUKUOKA ASIAN PICKS」

■申請者 FUKUOKA MUSIC FACTORY

■開催日 令和2年9月12日（土）～9月13日（日）

■会場 オンライン

■助成額 200千円

■視聴者数 3,000人

ク 音楽公演「九州ゴスペルフェスティバル 2020 in 博多 -NET STREAM-」

■申請者 九州ゴスペルフェスティバル in 博多 実行委員会

■開催日 令和2年9月20日（日）

■会場 オンライン

■助成額 300千円

■視聴者数 10,000人

ケ 美術展示「九州フラグメンツvol.1 ワイ、ノット？」

■申請者 加藤 笑平氏

■開催日 令和2年9月10日（木）～9月23日（水）

■会場 アートスペース・テトラ

■助成額 300千円

■来場者数 250人

コ メディア芸術「Live film Pj」

- 申請者 北澤 輝樹氏
- 開催日 令和3年2月28日（日）
- 会場 オンライン
- 助成額 150千円
- 参加者数 11人

サ メディア芸術「サイレント映画『SOUL OF LOVE』の製作」

- 申請者 花野組福岡
- 上映会 令和3年2月28日（日）
- 会場 福岡市美術館ミュージアムホール
- 助成額 350千円
- 来場者数 62人

シ 伝統芸能公演「コロナ終息祈念 能楽新春コンサート オンライン」

- 申請者 今村 嘉太郎氏
- 開催日 令和3年1月10日（日）
- 会場 今村舞台
- 助成額 240千円
- 来場者・視聴者数 62人（うちオンライン27人）

ス その他「和の空間と書の現代アートが共存する世界」

- 申請者 中島 美紀氏
- 配信期間 令和3年1月10日（木）～9月23日（水）
- 会場 オンライン
- 助成額 140千円
- 視聴者数 23,872人

【文化団体等活動支援部門】 2件

ア 伝統芸能事業「HAKATA MAGEMONO」

- 申請者 春風 SHUNPUO
- 配信期間 令和3年2月28日（日）
- 会場 オンライン
- 助成額 100千円
- 視聴者数 3,000人

イ その他（映画）「懐かしの名画シアター上映事業」

- 申請者 NPO法人 博多映画道場
- 開催日 令和2年7月21日（火）、8月21日（金）、10月15日（木）、11月17日（火）
- 会場 あじびホール
- 助成額 100千円
- 来場者数 359人

【人材育成・環境整備部門】 4件

ア ダンスワークショップと発表会「カラダだから・だからカラダ2020」

*R1年度に続き2回目の採択

- 申請者 一般社団法人 パラカダンス
- 開催日 令和2年10月10日（土）～10月11日（日）
- 会場 福岡市美術館アートスタジオおよびミュージアムホール
- 助成額 300千円
- 参加者数 32人

イ 音楽ワークショップとコンサート

「Clarinet Cafe ～気軽にクラリネット♪～もっと知りたいsolo ～アンサンブルまで
クラリネットの世界」

- 申請者 山田 美裕貴氏
- 開催期間 令和3年2月21日（日）～2月22日（月）
- 会場 末永文化センター、九州キリスト教会館
- 助成額 300千円
- 参加者・来場者数 158人（内32人がワークショップ参加者）

ウ 美術ワークショップ

「The Encounter with the Japanese-style Painting 日本画で日本を知るワーク
ショップ」

- 申請者 川村 愛
- 開催日 令和2年10月24日（土）
- 会場 福岡市美術館アートスタジオ
- 助成額 90千円
- 参加者数 81人（内36人がワークショップ参加者）

エ 美術展示「躍動する現代作家展」

- 申請者 田畑 豊
- 開催期間 令和2年8月6日（木）～8月11日（火）
- 会場 福岡アジア美術館企画ギャラリー
- 助成額 0円（事業実施後の対象経費が下限5万円に満たなかったため。）
- 参加者数 400人

③ 報告会

- 開催日 前期：令和2年12月21日（月）、後期：令和3年3月31日（水）
- 会場 オンライン
- 内容 ・事業を実施採択団体・個人からの報告、専門アドバイザーから
フィードバック、全体講評、参加者間での意見交換
- 参加者 ・採択事業の団体・個人、報告ジャンルの専門アドバイザー
- 参加者数 25人

(4) 支援情報発信

文化芸術分野の支援について、ホームページに新たに掲載し、助成金や市施設利用に関する情報、感染防止対策や活動継続・再開に役立つ事例の紹介等の情報を一体的に発信した。

第3 情報発信事業の推進

(1) 文化芸術資源収集活用事業 (決算額 4,284千円 ※美術品等購入費)

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

■購入件数及び総額：	287点	4,284,250円
■売却件数及び総額：	10点	4,046,498円

福岡市美術館

購入：絵画「寒山拾得図」ほか	計 3点 (計2,200,000円)
売却：絵画「海老図」	計 1点 (計1,200,000円)

福岡市博物館

購入：歴史書「日本書紀」ほか	計 284点 (計2,084,250円)
売却：古文書「黒田如水書状・黒田長政黒印状(井手文書)」外	計 9点 (計2,846,498円)

(2) 文化芸術広報事業 (決算額 3,350千円)

(1) 文化情報発信事業

①財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、アーティストや文化施設等の紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

■発行状況：年2回(9月、1月)発行 20,000部

※5月号は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休刊

◎wa84・秋号

[Pick up Artist] 田中 勇氣氏 (博多人形師)

[掲載内容]

今だからこそ、アーティストの思い with コロナ

[アートトリップ] 美術館・博物館の常設展

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、財団事業の開催中止や延期が相次いだため、コロナ禍でのアートの楽しみ方、アーティストの活動や変化について焦点をあてた内容に変更。

◎wa85・冬号

[Pick up Artist] 藤岡 定氏 (anno lab 代表)

[掲載内容]

講談師 神田伯山 新春連続読み『寛永宮本武蔵伝』完全通し公演 令和三年

すっごい演劇アートプロジェクト「オンライン演劇ってどうやると?!」

キビるフェス2021
獅子舞公演/ワークショップ
ミュージアムグッズ
賛助会についてのお知らせ

②ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

ホームページ及び福岡市文化プログラム[※]情報サイト並びに文化情報コーナー「アートルिए」を運営し、情報収集と発信を行った。

また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報提供、メディア向けニュースリリースの発行（月1回程度）による取材呼びかけなど、多チャンネルによる発信を行った。

[ホームページ] 訪問数：49,912件

[福岡市文化プログラム情報サイト] 訪問数：13,669件

[メルマガ配信] 毎週木曜日発信 登録者数：1,621人

※福岡市文化プログラム：国において、東京五輪に向けて全国で様々な主体による日本文化の魅力を発信する事業を「文化プログラム」として、オールジャパンで推進していくこととしている。福岡市においても、この国の動きと連動し、福岡の歴史・文化の魅力を広く発信することを目的とした「福岡市文化プログラム」を展開している。

(3) 文化芸術普及事業（決算額 4,150千円）

福岡市美術館及び福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

(1) 主な売上

・金印グッズ（レプリカ、スタンプ、ストラップほか） 計 3,043点 2,746,143円

・刀剣グッズ（刀剣実物大ポスター、クリアファイル、絵はがきほか）

計 3,977点 990,504円

(2) 令和2年度 新規販売グッズおよび売上

・福岡市博物館 ハンドタオル3種（外観、金印、兜）※新デザイン

計 599点 275,130円

(4) 賛助会「wa+club（わたすクラブ）」事業（決算額 632千円）

市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市の更なる文化芸術活動の振興に取り組むため、財団の賛助会制度である賛助会「わの会」の名称を、「wa+club（わたすクラブ）」に変更し、これまでの会員特典に加え、財団主催事業の先行予約など会員特典の充実や、申込手続きの簡便化などによって会の魅力向上を図った。

(1) 会員・会費

・個人会員 年会費 2,000円（全期） 1,500円（半期）

- ・法人会費 年会費 30,000円（全期）

(2) 会員特典

- ・福岡アジア美術館、福岡市美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付（年4回）
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・会員限定や優待の講座、イベント開催
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等
- ・博多座公演チケット優待
- ・会員限定メールマガジンの配信

(3) 会員数

- ・個人会員：340人
- ・法人会員：6団体